

国立西洋美術館

近隣 散策



写真1 国立西洋美術館 外観

国立西洋美術館は、上野恩賜公園入口近くにある。ヨーロッパで美術品の収集をしていた実業家松方幸次郎の松方コレクションを展示するため、ル・コルビュジエによって設計され1959（昭和34）年に完成した。モネやルノワールなどの印象派の名作や、ゴッホ、ピカソといった有名作家の絵画、ロダンの彫刻作品（写真2）などを展示する、日本随一の西洋美術専門の美術館である。これらの展示物と同じくらい重要なものが美術館の建築そのものである。「ル・コルビュジエの建築作品 - 近代建築運動への顕著な貢献 -」の構成資産として、2016年に世界文化遺産に登録された、日本で唯一の建築作品である。

宙に浮いたような四角い箱が柱で支えられた外観（写真1）とガラス張りのエントランスが大きな特徴であり、建物の内外を1枚のガラスで隔てることで、オープンな場として誰もが利用出来る開いた美術館である。近隣の、例えば「東京国立博物館表慶館」に見られる、石やレンガを積み上げた壁で支えられた重厚な趣きの、伝統的な西洋建築とは明らかに異なる。芸術の秋、公園内の散策でこれらの西洋建築を見比べてみるのも楽しいのではないだろうか。



写真2 ロダンの彫刻作品「考える人」